



令和6年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年11月8日

上場会社名 三重交通グループホールディングス株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3232 URL <https://holdings.sanco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 竹谷 賢一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ 経理担当部長 (氏名) 岩垣 智憲 (TEL) 059-213-0351
 四半期報告書提出予定日 令和5年11月10日 配当支払開始予定日 令和5年11月21日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第2四半期の連結業績(令和5年4月1日~令和5年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第2四半期	43,770	11.0	3,486	80.8	3,617	58.6	2,704	60.5
5年3月期第2四半期	39,449	10.6	1,928	—	2,280	410.6	1,684	503.6

(注) 包括利益 6年3月期第2四半期 3,731百万円(21.3%) 5年3月期第2四半期 3,075百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第2四半期	27.07	—
5年3月期第2四半期	16.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第2四半期	173,719	56,057	32.1
5年3月期	167,901	52,777	31.2

(参考) 自己資本 6年3月期第2四半期 55,740百万円 5年3月期 52,467百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
6年3月期	—	6.00	—	—	—
6年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 令和6年3月期(予想)期末配当金には、三重交通グループが創立80周年を迎えることから、記念配当1円を含んでおります。

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	7.4	6,800	6.7	6,800	△1.7	4,400	16.7	44.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は添付資料12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	6年3月期2Q	107,301,583株	5年3月期	107,301,583株
② 期末自己株式数	6年3月期2Q	7,258,600株	5年3月期	7,462,274株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	6年3月期2Q	99,888,289株	5年3月期2Q	99,712,813株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会資料の入手方法について)

当社は、令和5年11月29日(水)にアナリスト及び機関投資家向けの決算説明会(ライブ配信)を開催する予定です。説明に使用する資料につきましては、事前に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という。）におけるわが国経済は、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行したことにより、経済活動の正常化が進みました。その一方で、ロシアによるウクライナ侵攻が長期化し不安定な国際情勢の中、物価の上昇基調が続くなど景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような中、当社グループは、幅広いニーズを取り込むため令和5年7月にビジネスホテル「三交イン伊勢市駅前」に隣接するビル内において、ワンランク上の優雅な空間を備えた「三交イン伊勢市駅前『別館』 Grande」をオープンするなど、収益の確保に努めました。

当第2四半期につきましては、運輸セグメントや流通セグメント、レジャー・サービスセグメントにおいて、需要回復に伴うバス・施設等の利用者増加に加え、不動産セグメントのマンション販売の増加等により、全てのセグメントにおいて増収となりました。

この結果、当社グループの営業収益は、437億70百万円（前年同期比43億21百万円、11.0%増）となり、営業利益は34億86百万円（同15億58百万円、80.8%増）、経常利益は36億17百万円（同13億36百万円、58.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億4百万円（同10億19百万円、60.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(運輸セグメント)

一般乗合旅客自動車運送事業(乗合バス)では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行し移動需要が高まったことや令和5年3月に実施した運賃改定の効果により、営業収益は増加しました。一般貸切旅客自動車運送事業(貸切バス)では、会員募集や団体旅行の需要回復が進んだことにより、営業収益は増加しました。一般乗用旅客自動車運送事業(タクシー)では、伊勢志摩地域における観光需要の回復により、営業収益は増加しました。

この結果、運輸セグメントの営業収益は112億75百万円(前年同期比8億4百万円、7.7%増)となり、営業利益は2億3百万円(前年同四半期営業損失68百万円)となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益(百万円)	前年同期比(%)
一般乗合旅客自動車運送事業(乗合バス)	5,199	5.4
一般貸切旅客自動車運送事業(貸切バス)	2,846	23.1
旅客運送受託事業	2,424	0.9
一般乗用旅客自動車運送事業(タクシー)	377	3.2
貨物自動車運送事業	98	3.4
自動車整備事業	226	7.8
その他	1,188	△1.3
小計	12,363	7.2
内部取引の消去	△1,087	—
合計	11,275	7.7

(注) 一般旅客自動車運送事業における営業成績は下記のとおりであります。

区分	単位	一般乗合 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)	一般貸切 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)	一般乗用 旅客自動車 運送事業	前年同期比 (%)
営業日数	日	183	0.0	183	0.0	183	0.0
期末在籍車両数	両	800	△0.7	269	1.5	134	1.5
営業キロ	km	6,927	0.1	—	—	—	—
実働走行キロ	千km	14,653	△0.9	5,075	30.4	793	1.1
旅客人員	千人	19,305	2.4	1,019	24.1	218	1.4
旅客運送収入	百万円	5,021	5.5	2,186	25.4	371	3.0
運送雑収	百万円	178	0.4	660	16.2	6	11.4

(不動産セグメント)

分譲事業では、マンションの販売戸数増加と単価上昇により、営業収益は増加しました。賃貸事業では、新たな物件の取得により、営業収益は増加しました。建築事業では、注文住宅の引渡棟数が減となったことにより、営業収益は減少しました。環境エネルギー事業では、天候に恵まれ、発電量が堅調に推移したことにより、営業収益は増加しました。仲介事業では、取扱高の減により、営業収益は減少しました。ビルやマンションの管理等を行う不動産管理事業では、新規物件の受託により、営業収益は増加しました。

この結果、不動産セグメントの営業収益は141億58百万円（前年同期比11億7百万円、8.5%増）となり、営業利益は30億17百万円（同2億52百万円、9.1%増）となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益（百万円）	前年同期比（%）
分譲事業	3,233	46.8
賃貸事業	4,789	1.1
建築事業	1,434	△8.2
環境エネルギー事業	3,127	5.4
仲介事業	517	△10.6
不動産管理事業	1,321	5.0
その他	16	△39.6
小計	14,439	8.3
内部取引の消去	△281	—
合計	14,158	8.5

(注) 1 分譲事業及び建築事業の営業収益は、その計上時期が第4四半期連結会計期間に偏る傾向があり、第2四半期連結累計期間の計上額が相対的に少なくなるという季節的変動があります。

2 分譲事業における営業成績は下記のとおりであります。

区分	土地 (ロット)	前年同期比 (%)	建物 (戸)	前年同期比 (%)	営業収益 (百万円)	前年同期比 (%)
戸建分譲	31	△42.6	15	0.0	605	△28.8
マンション分譲 (持分換算後)	—	—	271 (49.6)	577.5 (24.0)	2,598	96.1
土地売却他	—	—	—	—	29	4.9

3 建築事業における受注状況は下記のとおりであります。

区分	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
建築事業	1,679	△25.8	2,541	△24.1

(流通セグメント)

石油製品販売事業では、液化ガスの販売量が減となったことにより、営業収益は減少しました。生活用品販売事業では、令和4年11月に「ハンズ名古屋松坂屋店」がオープンしたことなどにより、営業収益は増加しました。自動車販売事業では、新車販売台数が増となったことなどにより、営業収益は増加しました。

この結果、流通セグメントの営業収益は150億95百万円（前年同期比11億80百万円、8.5%増）となり、52百万円の営業損失（前年同四半期営業損失2億80百万円）となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益（百万円）	前年同期比（%）
石油製品販売事業	5,285	△0.8
生活用品販売事業	3,770	20.6
自動車販売事業	6,058	10.6
小計	15,114	8.5
内部取引の消去	△18	—
合計	15,095	8.5

(レジャー・サービスセグメント)

ビジネスホテル事業では、観光支援策等で生じた需要を取り込み、稼働率・宿泊単価ともに上昇したことにより、営業収益は増加しました。旅館事業では、団体需要の緩やかな回復で館内消費が増となったことなどにより、営業収益は増加しました。ドライブイン事業及び索道事業（ロープウェイ）では、個人客を対象としたイベント等を実施し、集客に努めたことにより、営業収益は増加しました。また、ゴルフ場事業では、夏場の入場者数が伸び悩んだことなどにより、営業収益は減少しました。旅行事業では、観光支援策による個人需要を取り込んだことに加え団体需要の回復も進んだことにより、営業収益は増加しました。自動車教習所事業では、教習単価を見直したことにより、営業収益は増加しました。

この結果、レジャー・サービスセグメントの営業収益は65億22百万円（前年同期比17億11百万円、35.6%増）となり、営業利益は2億68百万円（前年同四半期営業損失5億26百万円）となりました。

業種別営業成績

区分	営業収益（百万円）	前年同期比（%）
ビジネスホテル事業	2,984	49.0
旅館事業	1,102	27.2
ドライブイン事業	404	29.3
索道事業(ロープウェイ)	327	19.0
ゴルフ場事業	233	△6.7
旅行事業	905	60.9
自動車教習所事業	418	5.6
その他	148	3.0
小計	6,524	35.6
内部取引の消去	△2	—
合計	6,522	35.6

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末(令和5年9月30日現在)における財政状態は、資産は、棚卸資産の増加や株価上昇に伴う投資有価証券の時価上昇等により1,737億19百万円(前連結会計年度末比58億17百万円増)となりました。また、負債は、借入金の増加等により1,176億61百万円(同25億37百万円増)となりました。純資産は、利益剰余金の増加等により560億57百万円(同32億79百万円増)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費の計上等により7億37百万円の収入(前年同期比33億19百万円収入増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得等により、31億86百万円の支出(同23億66百万円支出増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増加等により、36億51百万円の収入(同18億83百万円収入減)となり、この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、86億75百万円(前連結会計年度末比12億1百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の業績予想につきましては、現時点において、令和5年10月26日に開示しました内容から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,333,177	10,535,039
受取手形及び売掛金	7,733,103	7,523,092
商品及び製品	3,304,832	3,878,060
販売用不動産	22,795,771	23,598,374
仕掛品	299,335	525,265
原材料及び貯蔵品	273,028	285,476
その他	2,572,624	2,680,964
貸倒引当金	△7,726	△9,362
流動資産合計	46,304,145	49,016,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,204,211	23,080,420
機械装置及び運搬具（純額）	20,358,918	19,590,443
土地	54,654,604	55,808,427
その他（純額）	2,195,545	2,862,493
有形固定資産合計	100,413,279	101,341,784
無形固定資産		
その他	543,873	529,332
無形固定資産合計	543,873	529,332
投資その他の資産		
その他	20,750,544	22,940,317
貸倒引当金	△110,233	△109,271
投資その他の資産合計	20,640,311	22,831,046
固定資産合計	121,597,463	124,702,163
資産合計	167,901,609	173,719,073
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,646,768	3,966,839
短期借入金	11,020,000	14,400,000
1年内返済予定の長期借入金	24,893,889	27,473,362
未払法人税等	1,748,877	1,964,216
引当金	1,033,401	1,082,322
その他	8,208,438	7,869,656
流動負債合計	53,551,374	56,756,395
固定負債		
長期借入金	43,606,491	41,806,622
引当金	439,314	457,205
退職給付に係る負債	1,983,793	1,910,439
資産除去債務	1,780,758	1,787,876
その他	13,762,071	14,942,938
固定負債合計	61,572,429	60,905,082
負債合計	115,123,804	117,661,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	10,488,281	10,517,432
利益剰余金	31,092,032	33,296,906
自己株式	△681,593	△663,104
株主資本合計	43,898,720	46,151,233
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,916,159	5,828,410
土地再評価差額金	3,282,401	3,282,401
退職給付に係る調整累計額	370,083	478,233
その他の包括利益累計額合計	8,568,645	9,589,046
非支配株主持分	310,439	317,315
純資産合計	52,777,804	56,057,595
負債純資産合計	167,901,609	173,719,073

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
営業収益	39,449,112	43,770,370
営業費用		
運輸業等営業費及び売上原価	28,247,225	30,945,717
販売費及び一般管理費	9,273,598	9,338,279
営業費用合計	37,520,824	40,283,997
営業利益	1,928,288	3,486,373
営業外収益		
受取配当金	120,446	169,877
その他	426,102	149,192
営業外収益合計	546,549	319,069
営業外費用		
支払利息	161,650	155,257
その他	32,417	32,843
営業外費用合計	194,067	188,100
経常利益	2,280,770	3,617,342
特別利益		
補助金収入	11,239	55,699
その他	826	1,060
特別利益合計	12,065	56,759
特別損失		
固定資産処分損	34,273	18,619
固定資産圧縮損	11,116	53,076
解約違約金	-	20,366
その他	416	122
特別損失合計	45,807	92,184
税金等調整前四半期純利益	2,247,028	3,581,918
法人税等	554,243	872,266
四半期純利益	1,692,785	2,709,651
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,123	5,581
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,684,661	2,704,070

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
四半期純利益	1,692,785	2,709,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,414,931	913,976
退職給付に係る調整額	△31,794	108,150
その他の包括利益合計	1,383,137	1,022,126
四半期包括利益	3,075,922	3,731,777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,070,147	3,724,471
非支配株主に係る四半期包括利益	5,775	7,306

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,247,028	3,581,918
減価償却費	2,433,123	2,325,610
受取利息及び受取配当金	△121,799	△171,137
支払利息	161,650	155,257
固定資産売却損益 (△は益)	△800	△60
固定資産処分損益 (△は益)	34,273	18,619
売上債権の増減額 (△は増加)	497,209	323,839
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,856,841	△1,645,658
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,353,538	△2,669,307
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△375,761	△265,594
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△115,230	△213,359
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△69,298	△194,479
その他	95,761	128,271
小計	△1,424,223	1,373,918
利息及び配当金の受取額	121,528	170,887
利息の支払額	△147,592	△136,041
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,131,346	△671,138
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,581,633	737,626
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	200,000	-
固定資産の取得による支出	△835,320	△3,278,954
固定資産の売却による収入	1,737	660
投資有価証券の取得による支出	△2,493	△2,660
投融資による支出	△112,513	△85,543
投融資の回収による収入	39,493	250,584
預り保証金の返還による支出	△267,710	△265,074
預り保証金の受入による収入	86,803	186,734
その他	69,277	7,356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△820,725	△3,186,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△786,000	3,380,000
長期借入れによる収入	17,950,000	12,125,000
長期借入金の返済による支出	△11,218,474	△11,345,396
自己株式の取得による支出	△108	△134
配当金の支払額	△398,693	△499,196
非支配株主への配当金の支払額	△430	△430
その他	△11,984	△8,709
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,534,308	3,651,132
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,131,948	1,201,862
現金及び現金同等物の期首残高	5,323,312	7,473,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,455,260	8,675,039

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和4年4月1日 至 令和4年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	運輸	不動産	流通	レジャー・ サービス	計		
営業収益							
外部顧客への 営業収益	9,775,625	11,978,253	12,958,517	4,736,716	39,449,112	—	39,449,112
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	695,980	1,073,233	956,953	74,489	2,800,657	△2,800,657	—
計	10,471,606	13,051,486	13,915,471	4,811,206	42,249,770	△2,800,657	39,449,112
セグメント利益 又は損失(△)	△68,317	2,764,608	△280,401	△526,917	1,888,971	39,316	1,928,288

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額39,316千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	運輸	不動産	流通	レジャー・ サービス	計		
営業収益							
外部顧客への 営業収益	10,461,179	13,033,002	13,877,524	6,398,663	43,770,370	—	43,770,370
セグメント間の 内部営業収益又は 振替高	814,798	1,125,814	1,218,414	123,679	3,282,707	△3,282,707	—
計	11,275,978	14,158,817	15,095,938	6,522,342	47,053,077	△3,282,707	43,770,370
セグメント利益 又は損失(△)	203,526	3,017,037	△52,243	268,049	3,436,371	50,001	3,486,373

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額50,001千円には、セグメント間取引消去及び棚卸資産の調整額他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。